



最近の更新（変更箇所は黄色で強調表示されています）

11/22/21: ロサンゼルス市ワクチン接種条例の「よくある質問」ページへのリンクを追加するために更新されました。

11/2/2021: 2021年11月8日より、ロサンゼルス市（LA）内にある飲食店はLA市ワクチン接種条例の対象となります。LA市のワクチン接種条例は、LA郡衛生担当官命令に準拠してワクチン接種状況をすでに確認しているビジネスには適用されないことを明確化するために「よくある質問 (FAQ)」が追加されました。

このよくある質問（FAQ）の文書はロサンゼルス郡[衛生担当官命令](#)に従っているナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所を援助するためのものです。このFAQはフルサービスのレストランとしての免許を持っていないナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所に適用されます。

ワクチンステータスの確認

1. 衛生担当官命令の必須条件は何ですか？また、それはいつから有効になりますか？

有効日を2021年10月7日として、ナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所は、入場時に12歳以上の顧客がCOVID-19ワクチンステータスの証明と写真付きIDを提供することを必須としています。10月7日から11月3日の間は、顧客が屋内でのサービスを受けたり、施設の屋内での活動に参加するためには、少なくとも1回目のCOVID-19ワクチンを接種したという証明を提供する必要があります。そして2021年11月4日から、顧客が屋内でのサービスを受けたり、施設の屋内での活動に参加するために施設に入場するには、12歳以上の顧客はCOVID-19に対するワクチン接種を完了していることの証明を提供する必要があります。2歳以下の子供は免除されます。さらに、2021年11月4日までに、施設の従業員はCOVID-19に対するワクチン接種を完了している証明を雇用主に提供する必要があります。

有効日を2021年10月7日として、18歳以上の顧客のみに開店しているナイトクラブとラウンジは、顧客と現地の従業員が入場するためには、COVID-19ワクチンステータスの証明と写真付きIDを提供することを必須としています。10月7日から11月3日の間は、顧客がナイトクラブやラウンジでのサービスを受けたり、施設の屋内での活動に参加するためには、少なくとも1回目のCOVID-19ワクチンを接種したという証明を提供する必要があります。そして2021年11月4日から、顧客が屋内でのサービスを受けたり、施設の屋内での活動に参加するために施設に入場するには、顧客はCOVID-19に対するワクチン接種を完了していることの証明を提供する必要があります。

さらに、2021年11月4日までに、現地の従業員はCOVID-19に対するワクチン接種を完了している証明を雇用主に提供する必要があります。



ナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所が知っておくべきこと

2. ワクチン未接種、または一部ワクチン接種を受けた顧客は、入場の72時間以内に行われたCOVID-19（診断）陰性検査結果を提供することで、施設で屋内のサービスを受けられますか？

いいえ。COVID-19（診断）陰性検査結果は、COVID-19ワクチン接種の証明を提供することの代替とはなりません。

3. 私のナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所はロサンゼルス市（LA市）内にあります。LA市ワクチン接種条例は、私達たちのビジネスにどのような影響を与えますか？

2021年11月8日より、ロサンゼルス市（LA市）にあるレストラン、バー、ファーストフード店、コーヒーショップ、醸造所、ワイナリー、蒸留所の試飲室、カフェテリアなどの飲食店がLA市ワクチン接種条例の対象となります。

ただし、条例の要件は「DPHの命令によって、屋内サービスを提供する前にCOVID-19ワクチン接種状況の証明の確認が義務付けられている場所」には適用されないとLA市条例に明示的に記述されています。これは、ナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、または蒸留所がすでにLA郡衛生担当官命令に準拠している場合、その事業は条例の対象とはならず、代わりに郡衛生担当官命令のワクチン接種要件に引き続き従う必要があります。

LA市に所在のある条例に記載されている他のすべての飲食店は、LA市条例を確認し、これを遵守しなければなりません。LA市条例の詳細については、[SafePass LA](#)のウェブサイト及び「よくある質問」のページをご覧ください。

4. 顧客に対するCOVID-19ワクチンステータスのスクリーニングの必要があるのは、施設内のどのエリアですか？

席に着く、サービスを受ける、またはビジネスの屋内エリアでのアクティビティに参加する顧客は、ビジネスの屋内エリアに入場する前に、規定に従ってCOVID-19ワクチンステータスの証明を提供するためにスクリーニングされる必要があります。ビジネスの屋外エリアでなら、顧客はワクチンステータスのスクリーニングを受けることなく、サービスを受けたり、アクティビティに参加することができます。

ワクチン接種の証明を提供しない顧客は、制限された場合に限って、ビジネスの屋内エリアに入場することが許可されます。これらの個人は、よくフィットしたマスクを着用することが必須であり、以下の場合のみ施設に入場することができます。1) デリバリーやピックアップの仕事の一環、サービスや修理を提供する場合、または緊急・規制的目的。2) 施設の屋外エリアに行くために屋内を通らなければならない場合、または御手洗を使用する場合。3) 持ち帰り用に飲食品を注文、ピックアップ、または支払いをする場合。その際に、顧客は飲食料の準備ができるまで屋外で待つ必要があります。



5. 食事が提供される場合、バーは屋内の顧客のワクチンステータスを確認する必要がありますか？

はい。主にバーとして運営する施設は、顧客のワクチンステータスを確認することが必須となります。これらの施設は低リスクの食品施設の公衆衛生許可証を持っています。これには施設内でスナックを提供するものの、フルサービスの席に着く形式のレストランとして運用しないバーを含みます。カラオケバーなどの、アルコール飲料を提供する夜間エンターテイメント施設も、この必須条件に従う必要があります。

所有権と許可： 同一の事業所有者の下で運営されている中程度または高リスクとして許可されているレストラン内にあるバーは、ワクチン接種状況を確認する必要はありません。

同一の事業所有者の下で個別に中程度または高リスクとして許可されているキッチンまたはレストランに隣接して（接続して）運営されているバーで、そのキッチンで調理された食品が「バーエリア」のメニューに含まれている場合、ワクチン接種状況を確認する必要はありません。バーに接続しておらず、単一の場所とは見なされないキッチン/レストランから食品を調理して持ち込むことはできません。同じ所有権の下にある個別に許可されたキッチンとバーを直接つなぐドアがなければなりません。

敷地内の他のレストランとは独立して運営されている低リスクとして許可されているレストランのバーが、敷地内の屋内での飲食サービスを提供する場合はワクチン接種状況の確認が必要です。例えば、フードホール/フードコート内のビールスタンドまたは醸造スタンドは、施設内で飲食をする際のワクチン接種の要件に準拠しなければなりません。

6. 従業員はどうやって許可されるワクチン記録フォームを見分けることができますか？群からどのようなトレーニングリソースが提供されていますか？

雇用主と従業員は、[ロサンゼルス郡公衆衛生局COVID-19ウェブサイト](#)から詳細を得ることができます。本更新の時点で、ガイドは[COVID-19ワクチン証明の確認](#)から得ることができます。

7. 従業員は顧客のワクチンステータス記録やワクチンプロセスの記録を保存する必要がありますか？

いいえ。各顧客が席に着き、サービスを受け、施設内でのアクティビティに参加することを許可されることで、その施設の所有者/マネジメントは、施設が入場前に屋内に入る各顧客のワクチン接種状況を適切に確認したことを宣誓したことになります。ビジネスが適切なワクチン証明プロセスに従わなかったことが分かった場合、コンプライアンス違反の対象になります。



8. 顧客が有効なワクチン証明を提供しない場合、従業員はどう対処すべきですか？

有効なCOVID-19ワクチン接種証明と写真付きIDを提供しない顧客は、その施設の屋外エリアが利用できる場合はそこでのみで席に着き、サービスを受け、アクティビティに参加することができます。

有効なCOVID-19ワクチン接種証明を提供しない顧客は、よくフィットしたフェイスマスクを着用しており、屋内に一時的に入場する場合のみ、以下の事項を屋内エリアで行うことが許可されています：1) (屋内エリアを通過して) 屋外エリアまたはトイレに行く場合。2) 注文したりレジで支払いをする場合、または、3) 屋外エリアか施設外（テイクアウト）で飲食をするために食事をピックアップする場合。これらの顧客はサービスを受けたり、屋内での活動に参加するために屋内エリアに滞在することは出来ません。

9. 施設が顧客、および/またはスタッフのワクチンステータスを確認していないことが分かった場合はどうなりますか？

郡の衛生指導官は、これらの施設の通常営業時間に訪れ、運営をチェックします。最初の訪問時にその施設が衛生担当官命令に従っていない（全ての顧客のワクチンステータスを確認していない、など）と判断された場合、衛生指導官は違反事項を検査報告書に記録し、その違反事項を是正する期日を言い渡します。再訪問時にコンプライアンス違反がまだある場合は、その施設に罰金500ドルの違反チケットが切られ、公衆衛生局は継続して従順事項を調査します。

10. これらのビジネスで行われる私的パーティーでのワクチン接種証明の確認は必須ですか？

はい。ワクチン接種証明の確認と現在のマスク着用の義務は、ワクチン接種の有無に関わらず次のビジネス施設の屋内で行われる全ての私的パーティーに適用されます：バー、蒸留所、ワイナリー、醸造所、ナイトクラブ、ラウンジ。

11. 注文をピックアップする際にワクチン接種証明の確認は必須ですか？

いいえ。テイクアウトの注文をピックアップする目的で、ワクチンステータスの確認無しにビジネスの屋内エリアにアクセスすることは、衛生担当官命令によって制限付きで許可されています。注文のピックアップには必要ないものの、施設は屋内エリアに入る全ての顧客に対して、ワクチンステータスをスクリーニングすることを習慣とすることもできます。

12. ワクチン接種証明の確認が法的に必須であることを告げる公式標識はありますか？

[公衆衛生局からの標識](#)は、[COVID-19予防の最善方法：ビジネスと雇用主向けのガイド](#)のページから見つけることができます。



COVID-19ワクチン接種や検査の必須条件 – よくある質問

ナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所が知っておくべきこと

13. ワクチン接種証明の確認後も屋内でマスクを着用する必要がありますか？

はい、ワクチン接種を完了していても、屋内ではマスクを着用する必要があります。マスクは飲食中には取り外すことが出来ません。パトロン、顧客、ゲストはテーブルに着いた状態、または固定されたカウンター、チケットを必要とする席、または飲食場にいる必要があります。顧客が飲食を許可される場所での拡散リスクを軽減するために、異なるグループの間に物理的距離を置くことが推奨されています。

14. 以前ワクチンステータスが確認された顧客に対して、再度確認することは必須ですか？

はい。顧客が入場する際に、毎回ワクチンステータスの検証を行うことが必要です。

ワクチン接種証明の確認を必須とする施設の種類の種類

15. バーと隣接しているフルサービスのレストランは、顧客が屋内にアクセスできるようにワクチン接種証明の確認を行うことが必須ですか？

レストランがワクチン接種証明の確認を行うことは強く推奨されますが、レストランの一部として隣接するバーがある場合でも、フルサービスのレストランでは必須ではありません。2021年11月8日より、ロサンゼルス市（LA市）内にあるレストランおよびその他の飲食店は、LA市ワクチン接種条例の対象となることに注意してください。対象となる場所の完全なリスト及び詳細については、LA市の[SafePass LA](#)のウェブサイト及び「よくある質問」のページをご覧ください。

16. 主な運営が家族向け娯楽施設であるレストランは、屋内の顧客に対してワクチン接種証明の確認を行うことが必須ですか？

その施設がフルサービスのレストランを運営する免許を持っている場合は必須ではありません。その場合、家族向け娯楽施設にいる顧客は、その施設内での感染リスクを軽減するために常時マスクを着用する必要があります。2021年11月8日より、ロサンゼルス市（LA市の）にある家族向け娯楽施設は、LA市のワクチン接種条例の対象となることにご注意ください。詳細については、LA市の[SafePass LA](#)のサイト及び「よくある質問」のページをご覧ください。



COVID-19ワクチン接種や検査の必須条件 – よくある質問

ナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所が知っておくべきこと

従業員と一時雇用のパフォーマー

17. 「従業員」とは誰を指しますか？バー/ラウンジ/ナイトクラブに雇用されていないパフォーマーもそれに含まれますか？

「従業員」とは、その施設の現場に定期的にいる全ての人を指します。これは接客をする従業員、裏で働く従業員、パートタイム従業員、フルタイム従業員、季節スタッフ、パフォーマーを含みます。

多くのビジネスは現場で働く「独立請負業者」を従業員とは考えません。しかし、カリフォルニア州労働法は、いくつかの独立請負業者を従業員として考慮します。カリフォルニア州労使関係部の[独立請負業者対従業員のウェブページ](#)をご覧ください。

18. 私の従業員がワクチン接種を受けるために、どのように援助したらよいですか？

ワクチンの詳細を求めるスタッフや、ワクチン接種に躊躇しているスタッフに対して、彼らの懸念を話し合い、信頼できるCOVID-19ワクチンに関する事実を見つける手助けをしましょう。3種類のCOVID-19ワクチンの安全性・効果に関する情報と、スケジュールに適したワクチン接種場を見つけるために、[VaccinateLACounty.com](#)を参照することもできます。ワクチン接種は無料であり、多くのワクチン接種会場では予約の必要はありません。各ワクチン接種場の情報は上記のウェブサイトに記載されています。

また、COVID-19ワクチンはロサンゼルス郡の大規模な小売薬局（CVSやWalgreensなど）、地元の薬局、掛かりつけの医療従事者など、広範囲で接種可能です。ワクチン接種のため、または必要な場合は、通常ワクチン接種後2日間に発生する[ワクチンの副反応](#)から回復するための、有給病気休暇を提供することを検討してください。あなたのスタッフ向けに[現地でのワクチン接種日](#)の開催を考慮してください。当社の[ワクチンパートナーサイト](#)を訪問して、モバイルワクチン接種クリニックをあなたの施設で実施してくれるワクチンプロバイダーのリストをご覧ください。

19. ワクチン必須条件からの免除の対象となるスタッフはどうしたらよいですか？

従業員は、彼らが宗教上の理由でワクチン接種を拒否している、または対象となる医療的理由からCOVID-19ワクチン接種を受けることから免除されているという、署名の付いた辞退届を雇用主に提供することでのみ、免除されます。対象となる医療的理由書には、開業医、上級看護師、または、医師免許を持って開業しているその他の免許を持つ医療従事者からの、免除の対象となる個人と、その従業員がワクチン接種を受けることが出来ない推定期間を記述した、書名付きの声明書を含む必要があります。

免除される従業員は少なくとも週1回、緊急使用許可（EUA）、または米国食品医薬品局から認証されたCOVID-19検査、SARS-CoV-2 PCR、または抗原検査を受ける必要があります。また、免除される従業員はサージカルマスクか、NIOSH認証のより高レベルの医療マスクを常時着用する必要があります。



COVID-19ワクチン接種や検査の必須条件 – よくある質問

ナイトクラブ、ラウンジ、バー、醸造所、ワイナリー、蒸留所が知っておくべきこと

一時的な従業員でなく、顧客ではない訪問者

20. 規制・修理サービス技術者が屋内でサービスを提供するために施設に入場する際に、ワクチンステータスを検証する必要がありますか？例えば、水やガスの修理・管理業者などの場合は？

いいえ。サービスを提供するために施設に入る、規制・修理のための一時的な訪問者は、施設の屋内エリアに入る際にワクチン接種証明を提供する必要はありません。彼らは屋内ではマスクを着用する必要があります。入場時のワクチン接種証明の衛生担当官命令の必須条件は、施設の顧客に対して適用されます。

情報

21. これまでいくつかの「衛生担当官命令」が発行されましたが、どれに従う必要がありますか？

公衆衛生局は、科学と公衆衛生専門家によってサポートされる地域の状況とリスクに基づいて、ビジネス運営と地域の再開と拡散リスクを軽減するために段階的なアプローチを採用しています。そのため、最新の衛生担当官命令、一般的な更新、最新のガイドを知るために、公衆衛生局のウェブサイトを頻繁に訪問することが重要です。これらはph.lacounty.gov/Coronavirusから参照できます。衛生担当官命令に加えて、このウェブサイトには、様々なビジネス部門と公共に対する最善方法などの、いくつもの優れたリソースを提供しています。

